

第14回 ふるさと名取の歴史展 近年の発掘調査2

— 見えてきた新たな歴史 —



日時

平成24年11月1日(木)～
平成24年12月2日(日)まで
(11月6日・14～16日・20日を除く)
午前9:00～午後5:00

場所

名取市文化会館2F
展示ギャラリー

※入場無料



【教育長あいさつ】

名取市は、県内でも数多くの文化財がある所として知られており、特に東北地方最大規模の古墳として著名な雷神山古墳をはじめとする古墳文化や、本宮・新宮・那智の熊野三社を中心とした熊野信仰に関係する文化財等に大きな特色があります。東日本大震災では、残念ながらこれらの文化財の中にも大きな被害を受けたものもあります。

去年は震災のため開催できませんでしたが、例年 11 月頃に開催してきました「ふるさと名取の歴史展」は、今回で 14 回目を迎えました。今回の展示は、平成 22 年度に開催した歴史展の後編として、「近年の発掘調査 2 ー見えてきた新たな歴史ー」と題し、平安時代以降の発掘調査成果を中心に、出土品や写真パネルなどを通じてご紹介いたします。市内には各時代にわたる多くの遺跡がありますが、遺跡は

地中に埋まっているものが多いため、私達の身近にありながらも、普段の生活の中で直接目にしたり触れたりする機会はあまり多くありません。この展示を通じて多くの皆様に郷土の歴史の一端に触れて頂き、これまで以上に興味や関心をもって頂ければ幸いです。また、震災で被害を受けたり、失われてしまったりした文化財の状況などについても、併せてご紹介いたします。

おわりに、今回の歴史展の開催にあたりまして、ご協力頂きました関係機関の皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

平成 24 年 1 1 月

名取市教育委員会
教育長 丸山 春夫

①【遺跡の発掘調査とは？】

名取市には現在、後期旧石器時代（今から約2万5千年前頃）から江戸時代（今から約150年前頃まで）にかけての遺跡が189ヶ所あります。これらの遺跡は、遺跡台帳に登録されており、その範囲は遺跡地図に載せられています。遺跡は我々の先祖達が遺した生活の痕跡であり、遺構（地面と一体となり、動かさないもの）と遺物（出土品などの動かせるもの）の大きく2つから構成されています。これらの遺跡は、地下に埋もれていることから埋蔵文化財とも呼ばれ、郷土の生い立ちや今日までの先人達の歩みを知る上で、貴重な情報を与えてく

れるかけがえのない文化財の1つです。

こうした遺跡内で工事などを行なう場合には、事前の手続きや、工事で遺跡が失われてしまう前に、「いつ頃の」・「どんなものが」・「どの場所に」・「どのように」・「どれくらい」埋まっているのか？などを確かめるため、必要に応じて実際に地面を掘って詳しい調査を行ない、その結果をまとめた記録を作成します。これらの作業が、遺跡の発掘調査です。

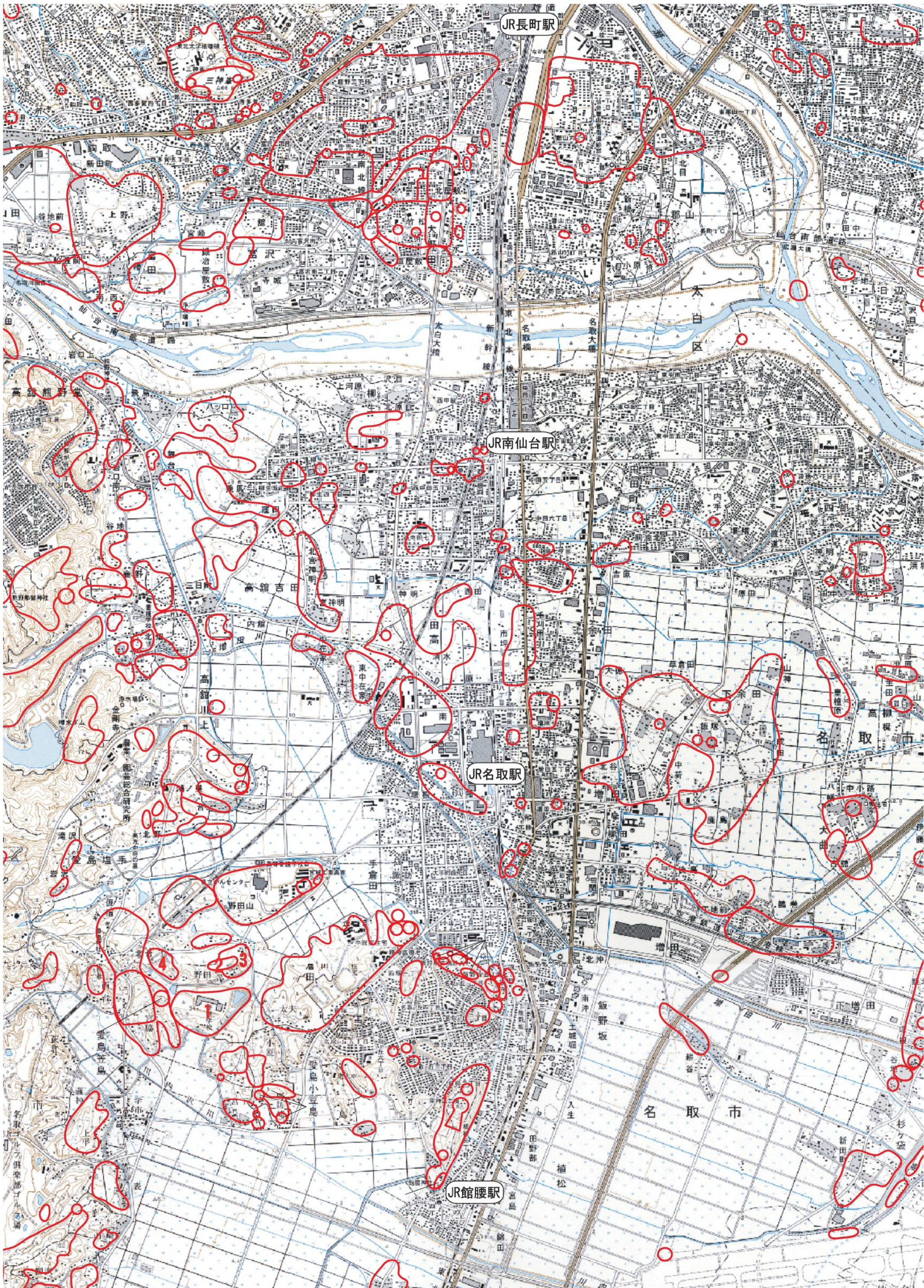
(遺跡台帳)

遺跡番号	遺跡名	よみがな	所在地	立地	種別	時代	地目	出土品
12001	金剛寺貝塚	こんごうじ	高館川上字東金剛寺	丘陵	貝塚	縄文前・後・晩	山林・畑	縄文土器(大木1・宝ヶ峯・金剛寺・大洞 BC~C2)、石斧、石皿、敲石、人骨、犬骨
12002	欠番		(金剛寺西貝塚)					
12003	箕輪A地区古墳群	みのわAちく	高館川上字鴻ノ巣	丘陵	古墳	古墳中	山林・畑	方墳(2基)、前方後方墳(1基)
12004	今熊野遺跡	いまくまの	高館川上字南台・字北台・字鴻ノ巣	丘陵	集落・貝塚	縄文早・前・弥生~平安	畑	縄文土器(日計・大木1・2)、土偶、弥生土器、石包丁、土師器、須恵器
12005	市史跡 熊野堂横穴墓群	くまのどう	高館熊野堂字大門山・五反田	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後・奈良	山林	土師器、須恵器、直刀、人骨
12006	市史跡 笠島庵寺跡	かさしま	愛島笠島字西台	丘陵	寺院	奈良・平安	山林・畑	土師器、瓦(平瓦・玉縁付丸瓦)
12007	大木戸貝塚(小豆島貝塚)	おおきど(あずきしま)	名取が丘三丁目	丘陵	貝塚	縄文早	山林・畑	縄文土器(素山2)

市内にある遺跡は、宮城県が作成している遺跡台帳に載せられています。台帳には県内の遺跡の通し番号や、遺跡の名前、所在地や立地、種類、時代や見つかっている出土品などが書かれています。

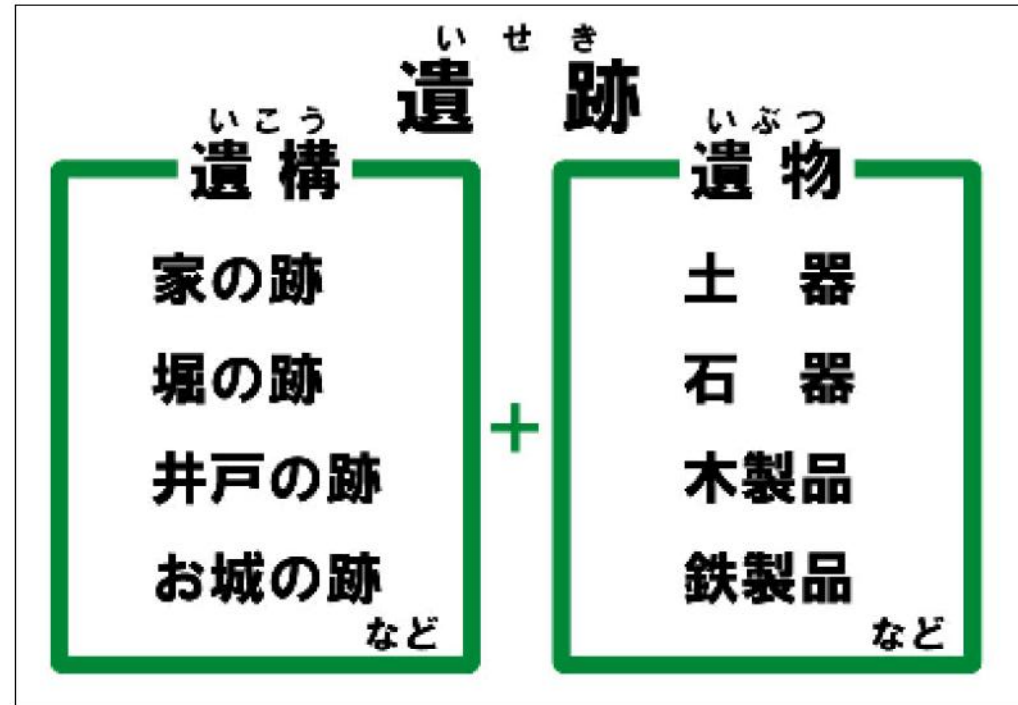
(遺跡地図)

地図中に赤枠で囲まれた範囲が、遺跡の範囲です。地図中には、時代別ではなく、旧石器時代から近世（江戸時代）までの遺跡の範囲が全て記されているので、時代別に見れば遺跡の数はこの地図よりは少なく、また、分布にも各時代の気候や環境などに合わせた特徴が見受けられます。



(遺構と遺物)

遺跡は、遺構と遺物の大きく2つから成り立っています。遺構は、地面と一体となつてその場所から動かすことが出来ないもので、図にあげたもの以外

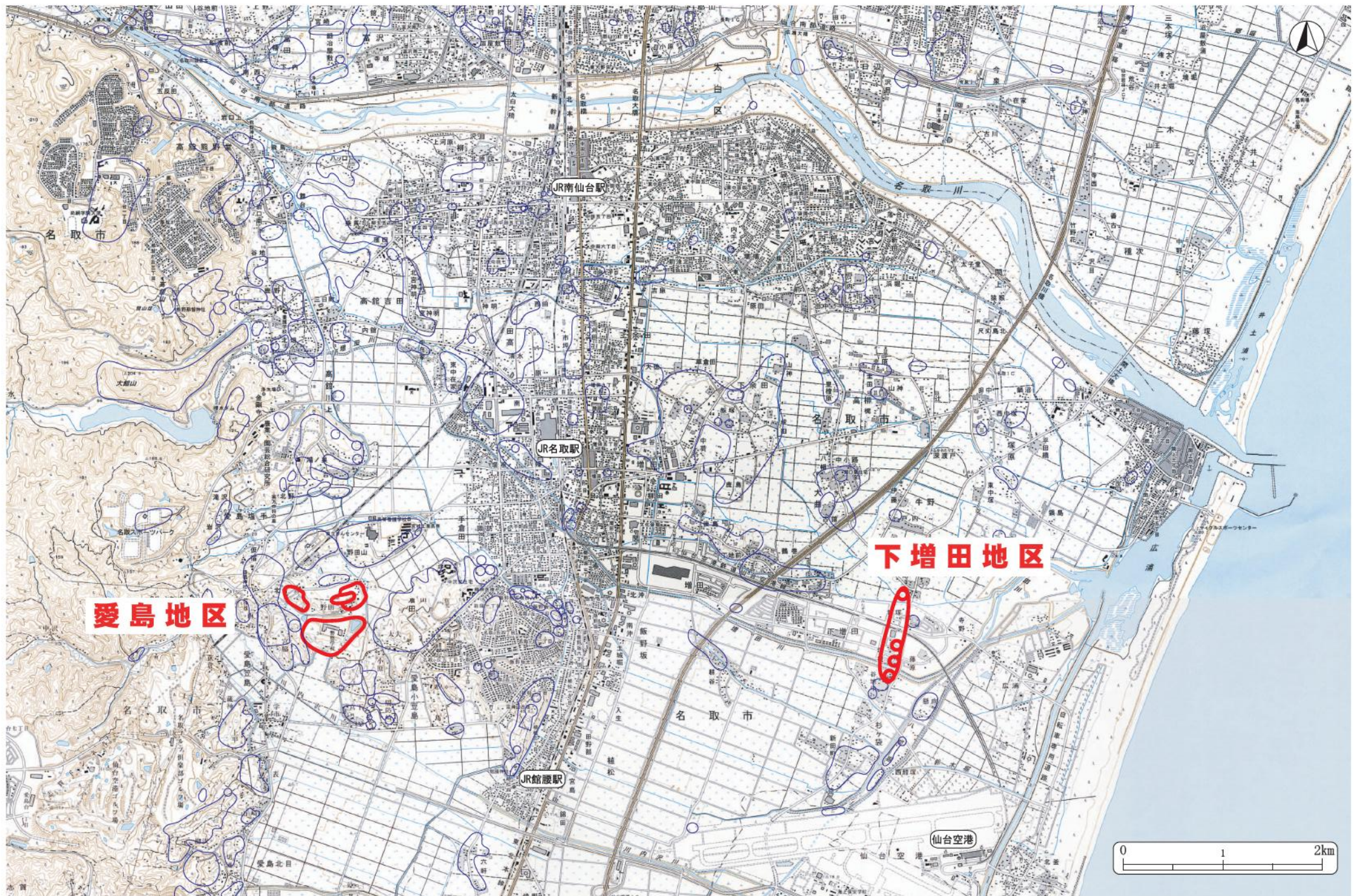


では、建物跡や、古墳をはじめとするお墓の跡なども遺構の一つです。

これに対して遺物は、これらの遺構などから出土したものの全般を指すもので、出土した場所から動かすことが出来ます。図にあげたもの以外では、土製品、石製品、漆製品、布製品など多種多様なものがあります。

②【近年の発掘調査】

これまで市内では、昭和 40 年代頃から多くの発掘調査が行なわれており、様々な遺構や遺物が見つかっています。近年の発掘調査では、平成 13 年度～15 年度に^{めでしま}愛島地区で住宅地を造る工事に先立って行なわれた調査と、平成 16 年度～20 年度に仙台空港鉄道や住宅地を造る工事に先立って下増田地区を中心に行なわれた調査が大規模なもので、多くの新しい発見がありました。前回の展示会と同様に、この 2 カ所の発掘調査で得られた成果を中心にご紹介しますが、今回は、平安時代以降のものを中心にご紹介いたします。



愛島地区と下増田地区の位置

③【時代の流れと主な出来事】

調査の成果を紹介する前に、ここで紹介する発掘調査で分かったことや見つかったものが、いつ頃のものなのかをイメージして頂けるように、これまでの時の流れや主な出来事などについて見てみましょう。この後、皆様に紹介するものが、いつ頃のものか分からなくなったらここへ戻ってチェックしてみてください。

カラーで示した平安時代～大正時代のものが、今回の展示に関係する時代で、解説のパネルもこの色分けで時代が分かるようになっています。

時代の流れと長さ

1. 旧石器時代 (今から13,000年以前)
2. 縄文時代 (約13,000年前~2,300年前)
3. 弥生時代 (約2,300年前~1,800年前)
4. 古墳時代 (約1,800年前~1,500年前)
5. 飛鳥時代 (約1,500年前~1,400年前)
6. 奈良時代 (約1,400年前~1,300年前)
7. 平安時代 (約1,300年前~800年前)
8. 鎌倉時代 (約800年前~650年前)
9. 南北朝時代 (約650年前~600年前)
10. 室町時代 (約600年前~500年前)
11. 戦国時代 (約500年前~400年前)
12. 安土桃山時代
13. 江戸時代 (約400年前~140年前)
14. 明治時代 (約140年前~100年前)
15. 大正時代 (約100年前~85年前)
16. 昭和時代 (約85年前~20年前)
17. 平成

→ 今回の展示で扱う時代

※2~6までは、『第13回 ふるさと名取の歴史展』の際に、とりあげた時代です。

日本や宮城県、市内の主な出来事を記した年表です。
これから写真や図で紹介する各遺跡の発掘調査の成果についても、
どの位前の出来事なのかを確認してみよう！

【名取市の歴史と文化財年表】

年代	時代区分	名 取 市		宮 城 県	日 本
		主な出来事・遺跡		主な出来事	主な出来事
A.D 710	奈良時代	713	◎丹取郡が置かれる	721 柴田郡から刈田郡を分割	701 大宝律令 710 平城京遷都
		728	◎丹取軍団を改め玉作軍団とした ○清水遺跡 ○南台窯跡	737 陸奥出羽の連絡路を開く	743 墾田永年私財法 749 養老律令施行
794	平安時代	769	◎名取郡の人・名取朝臣を賜う・の記録が見える	749 陸奥国から貢金	
		785	◎続日本紀に名取以南14郡の記録が見える ○今熊野遺跡(鴻巣)○笠島廃寺跡 ○前野田東遺跡に区画施設	780 伊治公磐麻呂反乱	794 平安京遷都
1192	鎌倉時代	815	◎名取軍団が交代(6軍団)で城柵の守備にあたる ※「和妙抄」に名取郡は指賀郷・井上郷・余部郷・駅家郷・玉崎郷・磐城郷・名取郷が見られる ○下増田飯塚古墳群の水田廃絶 ○北東宮下遺跡 ※「延喜式」に名取郡の式内社として多賀神社・佐具叡神社が見られる ○鶴巻前遺跡 ○下余田遺跡	869 陸奥国に大地震あり 934 陸奥国分寺七重塔雷火で焼失	902 荘園整理令出る 935 平将門の乱
		1123	◎熊野三社が勧請されたという	1051~62 前九年の役 1083~87 後三年の役	1086 院政始まる
1333	南北朝時代	1189	◎名取郡司・熊野別当が合戦の後に釈放 ○新宮寺文珠菩薩・一切経 ○川上遺跡 ○大門山遺跡○元徳の碑 ○那智神社懸仏 ○高館城跡○熊野堂大館城跡 ○下増田飯塚古墳群で集落	1189 源頼朝平泉を攻める	1185 源頼朝守護地頭を置く 1221 承久の乱
		1351	◎熊野別当益田(増田)に関所設置 ○原遺跡 ○下余田遺跡 ○元中田遺跡	1333 北畠顕家 義良親王を奉じて多賀国府へ入る 1351 岩切合戦 1352 多賀国府 足利方の手に落ちる	1333 鎌倉幕府滅亡 1338 足利尊氏 征夷大將軍になる
1392	室町時代	1406	◎伊達氏名取郡へ進出		1392 南北朝合体
1467	戦国時代				1467~77 応仁の乱
1573	安土桃山時代	1586	◎秀吉益田(増田)関所を廃止、その後増田と改称		1573 室町幕府滅亡 1590 豊臣秀吉の全国統一
1590		1596	◎伊達政宗名取郡に検地を行う ○熊野神社本殿		
1600	江戸時代			1600~1603 仙台城下の街づくり	1600 関ヶ原の戦い 1603 徳川家康征夷大將軍となる
1603		1616	◎増田の宿場がつくられる	1605 松島瑞巖寺と改称 1613 支倉常長ローマへ(延宝年間) 仙台古城記の編集 蔵王山爆発	1635 参勤交代の制
1868	明治時代	1648	◎増田の街づくり始まる		
		1668	◎貞山運河完成(阿武隈川~名取川まで)		
1912		1678	◎上増田外七ヶ村新田検地 ○閑上土手の松並 ○中沢家住宅○洞口家住宅 ○飯塚大同屋敷	1771 仙台藩廃止で仙台県となる 1172 仙台県が宮城県 1838 宮城・名取・亶理郡など、大暴風雨で多くの死者を出す	1716~1745 享保の改革 1787~1793 寛政の改革 天保の改革
		1772	◎封内風土記25巻成る ※封内風土記によれば1650年増田の街づくりのため、大塚・狐塚・馬塚・天神塚・神明塚・守宮塚と言う大きな古墳が崩される ○耕龍寺山門(移築)	1876 明治天皇東北巡幸	1867 大政奉還 1868 明治維新 戊辰の役 1869 版籍奉還 1872 学制の発布
		1874	◎学制により、名取郡の大区詰所増田に置く		
		1875	◎増田に警察小屯地設置される		
		1876	◎明治天皇東北巡幸の増田御休所建てられる ○二階建土蔵造倉庫建築		
		1880	◎増田・閑上の郵便局開設		
		1888	◎増田駅営業開始		
		1889	◎市町村施行で6ヶ村(東多賀村、愛島村、増田村、高館村、館腰村、下増田村)となる		1889 大日本帝国 憲法発布 1894 日清戦争
		1896	◎町制施行により増田村が増田町となる		
		1906	◎増田図書館設置		
				1918 県内で米暴動	1914 第一次世界大戦 1923 関東大震災 1925 普通選挙制
				仙台放送局放送	